

4 . 阿蘇の草原をフィールドとした研究者の活動

阿蘇の草原は、畜産、生物多様性、景観・文化など学術的な研究対象としても注目されています。2013年以降年発表された論文等、研究成果を紹介します。

最近発表された論文等

著者	論文名 / 書名	編者名 / 出版社名	発行年	頁
Yamasaki T, Ozeki K, Fujii N, Takehara M, Yokogawa M, Kaneko S, Isagi Y	Genetic diversity and structure of <i>Silene kiusiana</i> (Caryophyllaceae) in the Aso region, Kyushu, Japan, revealed by novel nuclear microsatellite markers.	Acta Phytotaxonomica et Geobotanica	2013	63: 107-120
Yokogawa M, Kaneko S, Takahashi Y, Isagi Y	Genetic consequences of rapid population decline and construction of restored populations of the critically endangered herb <i>Polemonium kiusianum</i> , and prediction of genetic effects of seed transfer from wild to restored populations.	Biological Conservation	2013	157: 401-408
Atsushi Shoji	Cessation effects of grazing and burning on species composition in humid temperate semi-natural grasslands through environmental modifications	Grassland Science 60(1)	2014	15-23
高橋佳孝	「草の里山」といきる - 阿蘇草原再生協議会の活動から -	エコロジー講座「里山のこれまでとこれから」(日本生態学会編, 鎌田磨人・白川勝信・中越信和責任編集) / 日本生態学会	2014	58-67
高橋佳孝	草原管理を反映する指標植物の検証	里山学研究 里山がひらく持続可能社会 龍谷大学里山学研究センター2013年度年次報告書	2014	127-128
町田玲子, 下嶋聖, 三浦南, 麻生恵	阿蘇地域の地域特性から見た草原と樹林地の景観的扱いに関する事例研究	日本造園学会誌、76巻5号	2013	723-726
町田玲子, 下嶋聖, 粕川玉青, 麻生恵	阿蘇地域におけるボランティアの草原再生に対する景観認識に関する研究	日本造園学会誌、77巻5号	2014	655-658
横川 洋	(書評) 莊林幹太郎・木村伸吾著、農業直接支払いの概念と政策設計—わが国農政の目的に応じた直接支払い政策の確立に向けて、農林統計協会、2014年	農業と経済、2014年7/8合併号	2014	107
横川 洋	阿蘇農耕景観の生態系サービス—その生成基盤・経済的評価・支援プログラムの形成	食農資源経済学論集、65巻1号	2014	62

講演・学会

演者	演題	講演 / 学会名	主催	開催月 / 開催場所
瀬井純雄	阿蘇の草原植物の現状と草原再生	日本動物学会九州支部・九州沖縄植物学会・日本生態学会九州地区会合同熊本大会	日本動物学会九州支部・九州沖縄植物学会・日本生態学会九州地区	2013年5月 / 熊本大学
瀬井純雄	阿蘇の野の花を未来に ~ 生物多様性豊かな草原「花野」の再生をめざして ~	阿蘇都市小学校長会研修会	阿蘇都市小学校長会	2013年5月 / 阿蘇市
高橋佳孝	茅場・草原の生態系サービスとその再構築	茅場再生勉強会	筑波大学	2013年5月 / 富山県
高橋佳孝	阿蘇の草原について(草原と人との関わり)	平成25年度教育事業「草原学習指導者講習会」	国立阿蘇青少年交流の家	2013年8月 / 熊本県
高沢智嗣、藤井紀行、瀬井純雄	阿蘇地域のスギ植林地伐採による草原再生初期の植生変化	日本植物学会第77回大会	日本植物分類学会	2013年9月 / 北海道大学

演者	演題	講演 / 学会名	主催	開催月 / 開催場所
高橋佳孝	新しい視点での放牧飼養による土地利用型畜産	平成 25 年度近畿中国四国農業試験研究推進会議畜産草地推進部会問題別研究会「土地利用と生産性向上による肉用牛生産の展開」	近畿中国四国農業研究センター	2013 年 9 月 / 鳥取県
横川 洋	阿蘇農耕景観の生態系サービス—その生成基盤・経済的評価・支援プログラムの形成	食農資源経済学会大会・個別研究報告会	食農資源経済学会	2013 年 9 月 / 別府市
岡本智伸	でっかい里山,阿蘇草原にみる人と動物のつながり	熊本市動植物園記念シンポジウム	熊本市動植物園	2013 年 10 月 / 熊本県
瀬井純雄	阿蘇の野の花を未来に ~ 生物多様性豊かな草原「花野」の再生をめざして ~	高森高校文化フォーラム	熊本県立高森高校	2013 年 10 月 / 高森町
高橋佳孝	地域資源を活用した肉用牛放牧の奨め	平成 25 年度中央畜産技術研修会肉用牛	農林水産省生産局	2013 年 10 月 / 福島県
Atsushi Shoji	Biodiversity in dairy systems in Japan: Floral diversification mechanisms in Japanese grazed grasslands	IDF (International Dairy Federation) World Dairy Summit 2013	International Dairy Federation	2013 年 11 月 / 横浜市
高橋佳孝	地域資源を活用した和牛放牧の多面的機能	平成 25 年度地域産産連携支援委託事業セミナー「地域の未来をひらく安全安心の高品質ブランド肉牛の開発」	NPO 法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会, 農林水産省	2013 年 11 月 / 岡山県
高橋佳孝	阿蘇の草原と生態系サービス	農業環境技術研究所公開セミナー (NIAES30 周年記念セミナー)「生き物のにぎわいを支える豊かな農業」	農業環境技術研究所	2013 年 11 月 / 東京都
高橋佳孝	いのち輝く草原を未来へ ~ 生態系サービスを通じた人と草原の関わりの再構築	シンポジウム 奇跡のはらっぱ「そうふけばばら」を次世代へ	日本自然保護協会	2013 年 11 月 / 東京都
高橋佳孝	地域資源を活用した新しい視点での和牛放牧	平成 25 年度東北地域飼料増産シンポジウム ~ 目指せ!! 放牧を取り入れた地域の水田等遊休農地解消戦略 ~	東北地域飼料増産行動会議・東北農政局	2013 年 12 月 / 宮城県
高橋佳孝	いのち輝く草原が,九州観光の中心から放つ魅力とは!	阿蘇千年の草原シンポジウム in 福岡	阿蘇草原再生協議会	2013 年 12 月 / 福岡県
瀬井純雄	阿蘇野の花を未来に ~ 生物多様性豊かな草原「花野」の再生をめざして ~	熊本県自然環境講座・生物多様性くまもとセミナー	熊本県	2014 年 1 月 / 熊本市
瀬井純雄	阿蘇はみんなの宝もの ~ 千年の草原に咲く、阿蘇の野の花たち ~	第 8 回火山と環境シンポジウム	阿蘇火山博物館	2014 年 1 月 / 阿蘇市
高沢智嗣、藤井紀行、瀬井純雄	阿蘇地域のスギ植林地伐採による草原再生初期の植生変化	熊本記念植物採集会総会	熊本記念植物採集会	2014 年 1 月 / 熊本市
瀬井純雄	阿蘇の野の花を未来につなぐ ~ 生物多様性豊かな草原「花野」の再生をめざして ~	第 7 回自然を愛する講演会	一本の木財団	2014 年 2 月 / 熊本市
瀬井純雄・高沢智嗣・藤井紀行	阿蘇における草原植物の現状と草原再生 スギ伐採林地からの草原再生	日本植物分類学会第 13 回大会公開シンポジウム	日本植物分類学会	2014 年 3 月 / 熊本大学
大谷一郎・高橋佳孝・堤道生	ススキの導入方法の違いが草地化に及ぼす影響	日本雑草学会第 53 回大会	日本雑草学会	2014 年 3 月 / 東京都
大谷一郎・高橋佳孝・堤道生	ススキの導入方法の違いが苗の定着に及ぼす影響	日本雑草学会第 53 回大会	日本雑草学会	2014 年 3 月 / 東京都
小路敦・山下浩・田村健一・上床修弘・我有満・眞田康治・奥村健治	熊本県阿蘇地域における推定ススキ - オギ雑種自生株の発見	2014 年度日本草地学会宮崎大会	日本草地学会	2014 年 3 月 ~ 4 月 / 宮崎県
井上雅仁・高橋佳孝・堤道生	火入れ地の草刈りによる草原性植物の開花状況の変化	第 61 回日本生態学会大会	日本生態学会	2014 年 4 月 / 広島県
高橋佳孝	評価指標の開発は二次草原の保全再生に貢献するか?	第 61 回日本生態学会自由集会「二次草原の保全再生に生物多様性指標をどう活かすか?」	日本生態学会	2014 年 4 月 / 広島県
高橋佳孝	「草の里山」といきる - 阿蘇草原再生協議会の活動から -	第 61 回日本生態学会公開シンポジウム「里山のこれまでとこれから」	日本生態学会	2014 年 4 月 / 広島県
岡本智伸	阿蘇の草原であか牛を育てるということ,それを食べるということ	東海大学エクステンションセンター市民講座	東海大学	2014 年 6 月 / 熊本県
岡本智伸	阿蘇の景観をつくっているもの ~ 生物多様性を育む人々の営み	くまもと県民カレッジ	熊本県生涯学習推進センター	2014 年 6 月 / 熊本県

追悼 長年、阿蘇の草原保全に尽力された大滝典雄先生を偲ぶ

阿蘇の草原をこよなく愛し、草原保全・再生に向けて先駆的に取り組んでこられた大滝典雄先生が、平成 26 年 2 月 22 日にご逝去されました（86 歳）。先生は、早くから草原保全の必要性を訴え、自ら 25 年以上にも及ぶ野焼きの実態調査を行いながら地元の人々の生の声を聞き、野焼き面積や牧野の実態をいち早く世に示され、現在の草原保全・再生の礎をつくられました。また、長年携わった草地畜産や自然保護関連の調査・研究、活動経験から、各種会合等では幅広い視点から草原保全の必要性を発信、実証試験などの現場ではリーダーとして活躍されました。



大滝先生が発信された言葉は今も生きています。平成 8 年の草原懇話会などのご発言から一部を紹介します。

野焼きの問題点は輪地切りの労働負担にある

これまで野焼き維持の危機感が観念的に言われてきたが、野焼きに関する長年の調査の中で地元の生の声を聞き、野焼きの問題点は輪地切りの作業負担にあることが分かった。野焼きによる悲しい事故を繰り返さないために安全な防火帯づくりと作業の省力化が課題である。

5 年間の野焼き中止で草原の様相は一変する

野焼き中止後の植生変化について、泉牧野と日の尾牧野を対象に追跡調査。野焼きを 5 年間で中止すると、ススキは巨大化して枯れ草の量が増え、タバコの火などが入れれば大火災になる。また、草原本来の植生は失われ、森林化の兆しが見えてくる。

牛に「草原景観保全専従造園士」の名前を贈りたい

阿蘇の草原でトラクターが使える場所は 30%、それ以外は牛しか行けない場所。放牧期間中に草を食み、傾斜 35 度の草原まで守ってくれる牛は「草原景観保全専従造園士」といえる。また、国土利用の意味から「国土保全技能士」という肩書きがふさわしい。現在 1 万 1 千頭いる繁殖牛が 5 千頭以下になると、美しい草千里も茫々たる草原に変わる。他の山と何も変わらない事態になった時に観光業者の方は危機感を持ってくださう。国民の理解のもと、放牧牛（草原景観保全造園士）に草原景観保全奨励金を与えてはどうか。

1 kg の牛肉を消費すると 75 m² の草原が守れる

都会の人に阿蘇の草原を見える形で訴える仕掛けも必要。食物、命、水を縦軸として、最高の食品、牛肉生産の源流である阿蘇を守ろうというために、「1 kg の牛肉を消費すると 75 m² の草原守れる」という草原と直結した身近な話題に置き換えることが必要だ。都会の人が外輪山に来て、自分が住む地域を流れる川の源流部を見極めるのもいい。



実証試験での植生調査（左、2001）



子どもたちの体験学習で牛にミソやり



ハガキに描かれた草原の絵（2011）

< 主な著書 >

- 『阿蘇一の宮町史 草原と人々の営み - 自然とのバランスを求めて - 』
- * 草原保全・再生について学ぶ人々のバイブル的な一冊です。
- 『端辺原野』
- * 平成 11 年第 2 回草枕文学賞入選
- * 豊肥線が宮地駅まで開通した頃の阿蘇の人々の暮らしが描かれています。

大滝典雄氏プロフィール

- ・昭和 3 年（1928）熊本本渡市生まれ。昭和 28 年、熊本県農業講習所（現熊本県農業大学校）卒業後、熊本県庁に入庁。畜産試験場阿蘇支所等で主に草地の試験研究に取り組む。熊本県農業大学校付属畜産高等研修所長、熊本県畜産試験場阿蘇支場長などを歴任。退庁後、熊本大学教養学部非常勤講師も務める。
- ・自然環境保全関連の活動：熊本県自然環境保全審議会委員、阿蘇地区パークボランティア代表、自然公園指導員、自然観察指導員、自然環境保全指導員、熊本記念植物採集会会員など
- ・環境省阿蘇草原保全関連事業とのかかわり：平成 8～9 年「草原懇話会」委員。平成 12～13 年「国立公園内草原景観維持モデル事業」検討会委員及び「輪地切り省力化技術に関する検討グループ」リーダーとして、平成 13 年 12 月に病で倒れるまでモーモール輪地切りなど実証試験を牽引。